

令和 7 (2025) 年度 「柏崎市で暮らすことに対するアンケート」

集計結果

1 調査の目的

- ・子どもの頃から本気で地元を楽しむ大人との出会いや自ら地域の良さを発見する機会を創出する。
- ・現在の柏崎市での暮らしや、将来柏崎市で暮らすことに対する意識の変化を定点把握・分析することで子どもたちの柏崎愛を育む総合学習の指標とする。

2 調査対象者

柏崎市立中学校の 1 年生から 3 年生

3 アンケート実施期間

令和 8 (2026) 年 1 月 14 日 (水) から 2 月 13 日 (金) の間

4 アンケートの実施方法

学習用タブレットを用いて専用のフォームより回答、送信

5 回答者数

1, 370 人 (在籍生徒数 1, 687 人・・・回答率 81.2%)

令和 8 (2026) 年 7 月
柏崎市移住・定住推進パートナーチーム
基盤ユニット

目次

問 1. 通っている学校を選択してください。	1
問 2. 学年を選択してください。	1
問 3. 性別	1
問 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。	1
問 5. 柏崎に住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。 3 柏崎以外のまちに住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。 5	
問 6. 今後、進学などで柏崎を離れた場合、また戻って柏崎に住みたいと思いますか？	7
問 7. 質問 6 で答えた理由を教えてください（自由記載）	8
問 8. あなたが就きたい仕事（職業）として、最も当てはまるものを選択してください。	10
問 9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？	12
問 10. 質問 9 で答えた理由を教えてください。（自由記載）	14
問 11. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【アウトドア、スポーツ系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	16
問 12. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【芸術、趣味、娯楽系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	17
問 13. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【学習、自己啓発系】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	18
問 14. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【ボランティア活動】に取り組む場合、 どのようなことをしたいですか？	18
問 15. あなたの好きなことやワクワクすることが柏崎でできるとしたら、 どんなことがしたいですか？（自由記載）	19

【自由記載について】

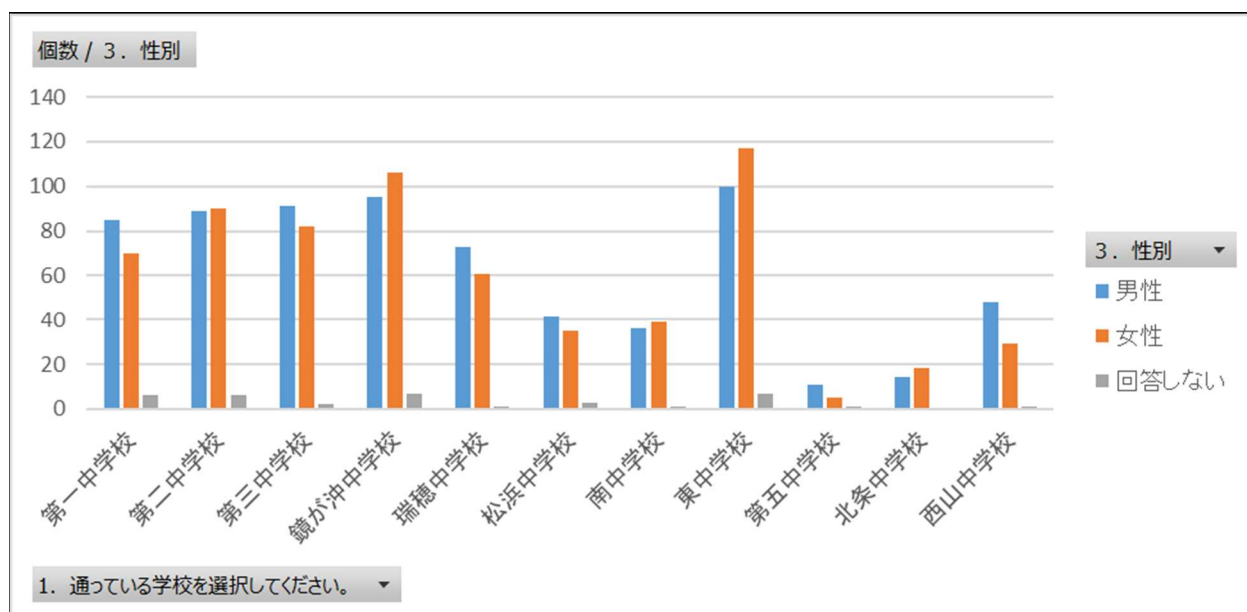
全ての回答を掲載できないため、内容が近いもので集約しキーワードに分類の上、回答を要約して掲載しています。

問 1. 通っている学校を選択してください。

問 2. 学年を選択してください。

問 3. 性別

▼学校－性別



▼学校-学年-性別 集計値

行ラベル	1年生			1年生 集計	2年生			2年生 集計	3年生			3年生 集計	総計
	男性	女性	回答しない		男性	女性	回答しない		男性	女性	回答しない		
第一中学校	25	27		52	35	26	5	66	25	17	1	43	161
第二中学校	34	33	2	69	25	24	1	50	30	33	3	66	185
第三中学校	26	30		56	37	26	2	65	28	26		54	175
鏡が沖中学校	32	31	3	66	29	31	1	61	34	44	3	81	208
瑞穂中学校	22	24	1	47	26	12		38	25	25		50	135
松浜中学校	16	14		30	10	11		21	15	10	3	28	79
南中学校	13	11		24	9	15	1	25	14	13		27	76
東中学校	39	34	3	76	35	38		73	26	45	4	75	224
第五中学校	4	1	1	6	5	3		8	2	1		3	17
北条中学校	2	7		9	6	6		12	6	5		11	32
西山中学校	10	7		17	21	8		29	17	14	1	32	78
総計	223	219	10	452	238	200	10	448	222	233	15	470	1370

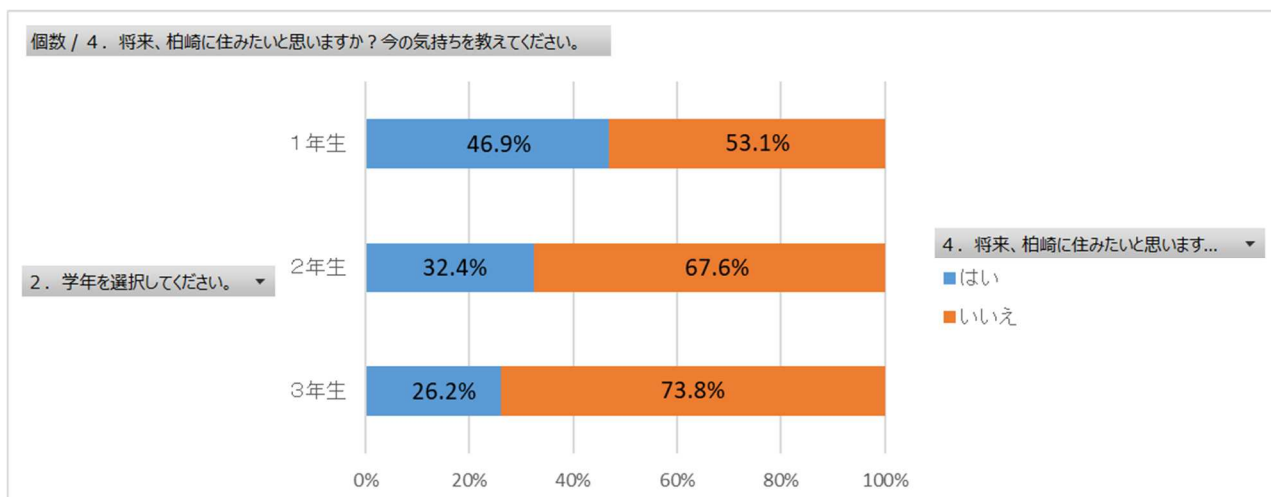
問 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

回答の傾向

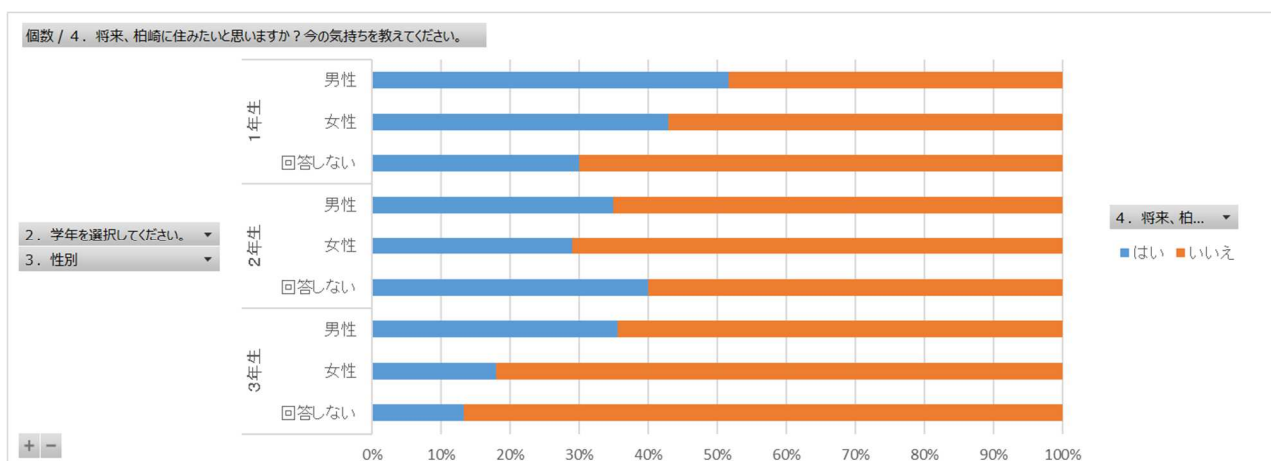
学年が上がるにつれて「はい」と回答する割合が低下し、逆に「いいえ」が増加する傾向が見て取れます。これは中学生が成長とともに、進学や就職、将来のキャリア形成を現実的に捉え始める中で、現状の柏崎市が持つ環境や産業の選択肢を再評価していることを示唆しています。地元に対する愛着と、将来の生活基盤としての魅力の間にギャップが生じている現状を読み解くことが重要な課題といえます。

▼学年別割合



▼学年－性別割合

学年が上がるにつれて「柏崎に住みたい」と考える生徒が男女ともに減少し、進路決定が近づくにつれ現実的な選択として市外への流出を意識する傾向が強まっています。特に女性はその傾向がより顕著に表れる時期があり、性別や将来のライフプランによって地元に対する捉え方に違いが生じていることがうかがえます。若者が将来の生活拠点として柏崎を再評価できるような環境整備が求められています。



▼学年－性別 集計値

個数 / 4. 将来、柏崎に住みたいと思いますか？今の気持ちを教えてください。			
行ラベル	はい	いいえ	総計
1年生	212	240	452
男性	115	108	223
女性	94	125	219
回答しない	3	7	10
2年生	145	303	448
男性	83	155	238
女性	58	142	200
回答しない	4	6	10
3年生	123	347	470
男性	79	143	222
女性	42	191	233
回答しない	2	13	15
総計	480	890	1370

<問4の回答が「はい」の方>

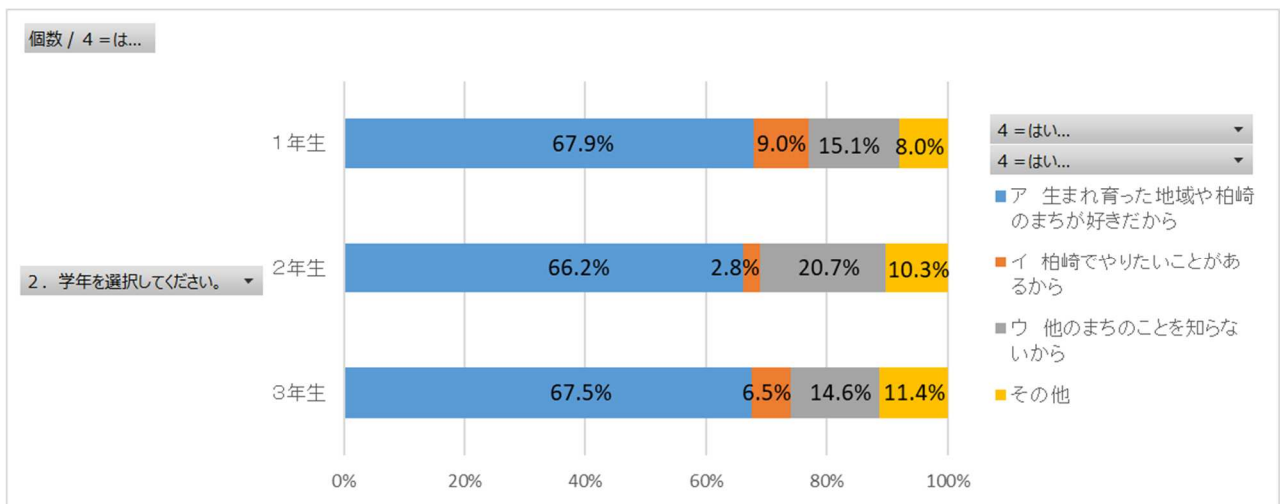
問5. 柏崎に住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。

- ☐ ア 生まれ育った地域や柏崎のまちが好きだから
- ☐ イ 柏崎でやりたいことがあるから
- ☐ ウ 他のまちのことを知らないから
- ☐ その他（自由記載）

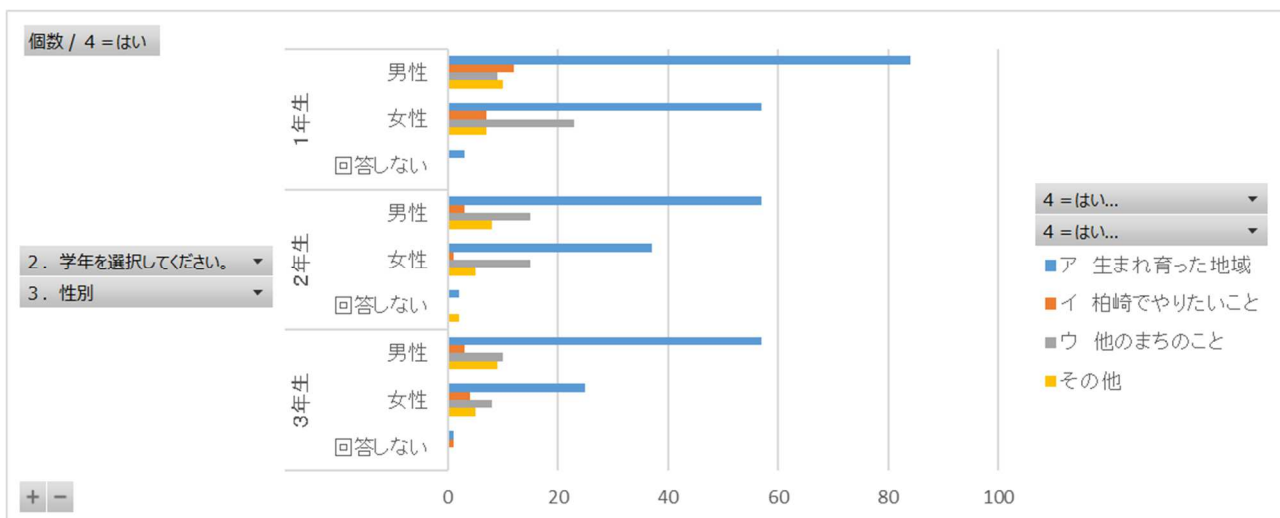
回答の傾向

全学年を通じて「生まれ育った地域やまちが好きだから」という愛着心が最も高い割合を占めています。また、「柏崎でやりたいことがあるから」は学年が上がるにつれて減少傾向にあり、「他のまちのことを知らないから」とする回答が一定の割合で存在します。将来の選択肢を広げるためにも、外部を知る体験や地元の魅力を再発見する機会の重要性が示されています。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年-性別 集計値

個数 / 4=はい	列ラベル				
行ラベル		⊕ ア 生まれ育った地域	⊕ イ 柏崎でやりたいこと	⊕ ウ 他のまちのこと	⊕ その他 総計
1年生	144	19	32	17	212
男性	84	12	9	10	115
女性	57	7	23	7	94
回答しない	3				3
2年生	96	4	30	15	145
男性	57	3	15	8	83
女性	37	1	15	5	58
回答しない	2			2	4
3年生	83	8	18	14	123
男性	57	3	10	9	79
女性	25	4	8	5	42
回答しない	1	1			2
総計	323	31	80	46	480

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

キーワード	回答の要約
生活環境への愛着と安心感	・ 幼少期から過ごしているため慣れ親しんでおり、ここが一番安心できるから ・ 海・山・雪といった柏崎の自然環境や、住み慣れた家への愛着があるから
家族・人間関係の安定	・ 両親や祖父母が近くにおり、将来的な育児協力や生活上のサポートが期待できるから ・ 友人がおり、今のコミュニティを離れることに抵抗や面倒くささを感じるから
精神的・物理的な負担の少なさ	・ 他の地域で新しく生活を始めるよりも、現在の生活基盤を活かす方が楽だから ・ 都会のような人混みや複雑な環境を避け、自分に合ったペースで生活できるから
キャリア・将来性の展望	・ 就職先として希望する病院や企業が市内にあり、将来的な展望が見えているから ・ 原発の稼働や商業施設の発展など、今後の地域の未来に期待が持てるから

＜問4の回答が「いいえ」の方＞

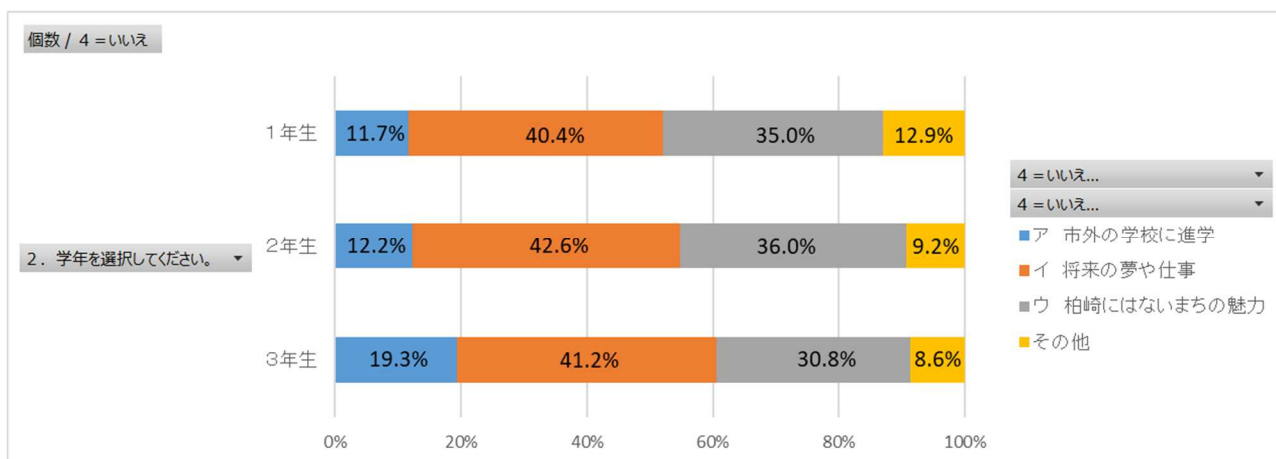
問5. 柏崎以外のまちに住みたい理由として、最も当てはまる理由を選択してください。

- ☐ ア 市外の学校に進学したいため
- ☐ イ 将来の夢や就きたい仕事があるため
- ☐ ウ 柏崎にはないまちの魅力があるため
- ☐ エ その他（自由記載）

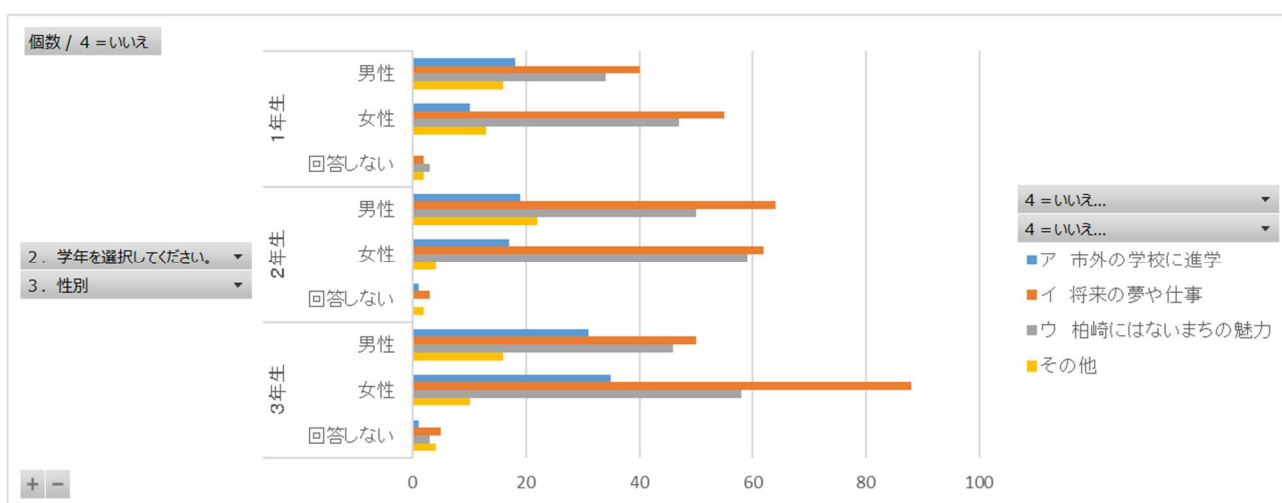
回答の傾向

柏崎以外への居住を希望する主な理由は、全学年を通じて「将来の夢や就きたい仕事があるため」が最も多く、次いで「柏崎にはないまちの魅力」が続きます。特に学年が上がるほど進学を理由とする回答が増加し、将来に向けた現実的な選択肢として市外への流出が意識されています。性別で見ると、女性は「夢や仕事」への関心が顕著で、男性は進学や多様な魅力への期待が根強いなど、キャリア志向と地域離脱の背景が読み取れます。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年-性別 集計値

個数 / 4=いいえ	列ラベル				
行ラベル		⊕ ア 市外の学校に進学	⊕ イ 将来の夢や仕事	⊕ ウ 柏崎にはないまちの魅力	⊕ その他 総計
☐ 1年生		28	97	84	31 240
男性		18	40	34	16 108
女性		10	55	47	13 125
回答しない			2	3	2 7
☐ 2年生		37	129	109	28 303
男性		19	64	50	22 155
女性		17	62	59	4 142
回答しない		1	3		2 6
☐ 3年生		67	143	107	30 347
男性		31	50	46	16 143
女性		35	88	58	10 191
回答しない		1	5	3	4 13
総計		132	369	300	89 890

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

キーワード	回答の要約
娯楽・利便性の欠如と都会への憧れ	・映画館や大型ショッピングモールなど、遊び場やお店が少なく生活が不便だから ・都会に住んで、より多くの施設や流行、新しい環境を経験してみたいから
「田舎」という地域環境へのネガティブな評価	・柏崎は「田舎すぎて何もない」「衰退している」と感じ、魅力を感じられないから ・冬の雪や除雪作業が非常に負担であり、日々の生活が辛いから
原子力発電所に対する不安	・原子力発電所の存在が怖く、将来的な事故リスクや安全面で不安があるから ・原子力関連の土地需要などで複雑な状況があり、住む場所として適さないと感じるから
将来のキャリアと自己成長への希求	・柏崎では就ける仕事に限られており、夢を叶えるためには都市部に行く必要があるから ・地元に残らず、自分の知らない街の文化や価値観を知り、自立したいから
地域への愛着の薄さと心理的拒否感	・柏崎市という地域自体が単純に好きではない、あるいは自分に合わないと感じるから ・若者の意見が取り入れられず、高齢者中心のまちづくりに息苦しさをを感じるから

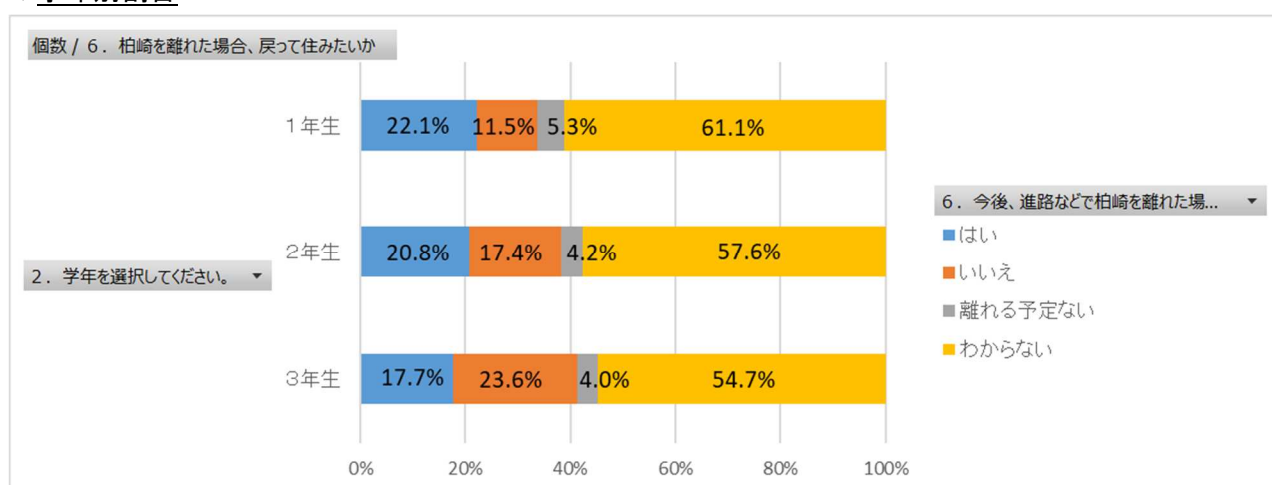
問6. 今後、進学などで柏崎を離れた場合、また戻って柏崎に住みたいと思いますか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ 柏崎を離れる予定はない
- ☐ 分からない

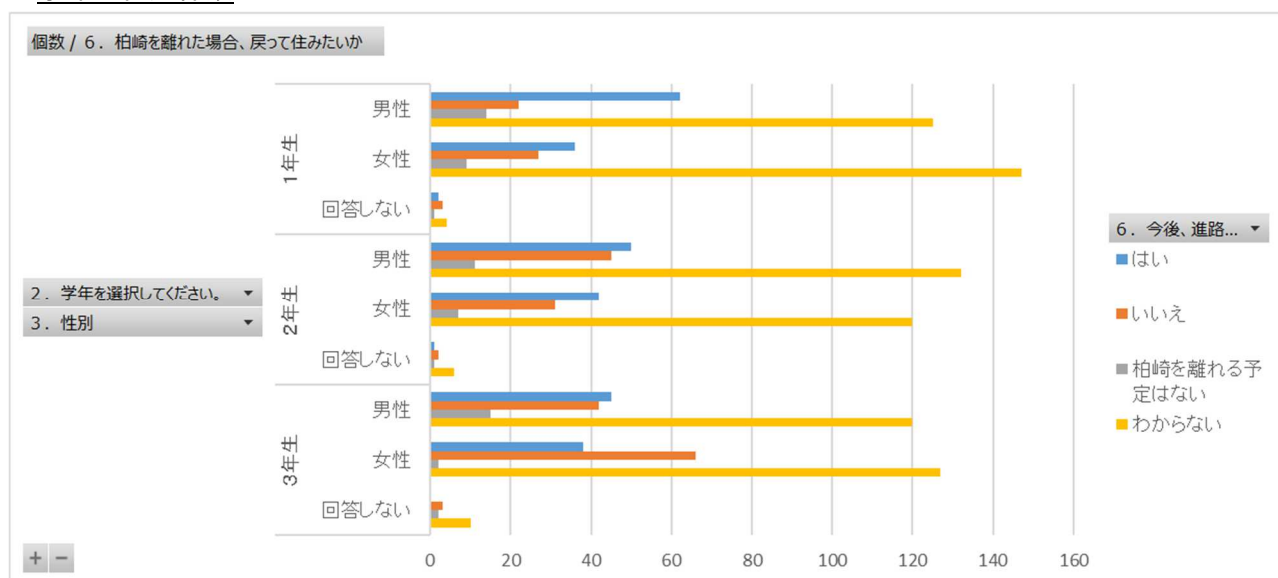
回答の傾向

「分からない」と回答する生徒が圧倒的に多く、現時点で将来の居住地を確定させることに迷いがある様子がうかがえます。「はい」との回答も一定数見られますが、学年が上がるにつれて「いいえ」の割合が明確に増加しており、進路選択と並行して将来の地元定着に対する懐疑的な意識が強まっていく傾向があります。若者が将来の選択肢として地元を前向きに検討できるような情報発信が求められます。

▼学年別割合



▼学年－性別件数



▼学年-性別 集計値

個数 / 6. 柏崎を離れた場合、戻って住みたいか 列ラベル 行ラベル					
	はい	いいえ	柏崎を離れる予定はない	わからない	総計
1年生	100	52	24	276	452
男性	62	22	14	125	223
女性	36	27	9	147	219
回答しない	2	3	1	4	10
2年生	93	78	19	258	448
男性	50	45	11	132	238
女性	42	31	7	120	200
回答しない	1	2	1	6	10
3年生	83	111	19	257	470
男性	45	42	15	120	222
女性	38	66	2	127	233
回答しない		3	2	10	15
総計	276	241	62	791	1370

問7. 質問6で答えた理由を教えてください（自由記載）

▼自由記載の分類結果

自由記載は回答別で概ね以下に分類されました。

<問6の回答が「はい」の方>

キーワード	回答の要約
生まれ育った「故郷」への愛着と安心感	・生まれ育った場所であり、何よりも心が落ち着き、安心できる場所だから ・慣れ親しんだ風景や街並みがあり、離れても懐かしさを感じて戻りたくなるから
家族との絆とサポート体制	・親や家族が住んでおり、会いたいという気持ちや親孝行をしたいという願いがあるから ・将来的に家族が近くにいることで、生活上の安心感や育児・介護の支え合いが期待できるから
自然環境と適度な住み心地	・海、山、雪といった柏崎の豊かな自然があり、空気がきれいで過ごしやすいためから ・都会のような喧騒がなく、静かで生活に困らない適度な「田舎感」が心地よいから
地域貢献とコミュニティへの思い	・幼い頃から親しんできた祭りや行事に参加し、伝統や文化を大切にしたい ・将来的に柏崎で働いたり、地域課題に関わったりすることで、地元にも恩返しや貢献をしたいから
リフレッシュの場としての価値	・都会での生活や仕事で疲れたときに、自然や地元の友人・家族のもとへ帰り、自分を取り戻す場所（リフレッシュの拠点）として必要だから ・自分のルーツを忘れないためや、将来の柏崎がどう変化しているかを確認したいという好奇心があるから

<問6の回答が「いいえ」の方>

キーワード	回答の要約
娯楽・商業施設の	・映画館や大型ショッピングモールなど、若者が遊べる場所や飲食店が少なく、

不足と不便さ	生活が不便だから ・都会と比較して買い物や娯楽の選択肢が限られており、日常に「楽しさ」や「刺激」を感じられないから
「田舎」という地域環境への強い不満	・街全体に活気がなく、過疎化やシャッター通り化が進んでおり、将来的な展望や魅力が見出せないから ・雪や除雪の負担が大きく、冬場の生活環境が厳しいため、より快適な都市部での生活を望むから
キャリア形成と専門性のミスマッチ	・自分の将来就きたい職業や、最新の技術を学べる環境が市内にはなく、自己実現のために都市部へ出る必要があるから ・賃金の低さや大企業の少なさから、経済的な豊かさやキャリアの選択肢を求めて県外・都市部を志向しているから
地域への愛着欠如と心理的な壁	・そもそも柏崎という街自体に愛着を感じておらず、一度離れたら再び戻るメリットや動機が見当たらないから ・原子力発電所の存在に対する不安や、高齢者中心のまちづくりに閉塞感を感じており、若者が定住するイメージが持てないから
自立と新しい環境への希求	・進学や就職を機に自立したいと考えており、一度慣れた新しい生活環境を捨ててまで、わざわざ不便な地元の戻る理由がないから ・自分の知らない文化や街並み、あるいは海外など、柏崎という枠組みを飛び越えて新しい世界を経験してみたいから

<問6の回答が「柏崎を離れる予定はない」の方>

キーワード	回答の要約
生活基盤の維持と愛着	・ずっと住み慣れており、今の環境が自分には一番心地よく愛着があるから ・家族や知人が近くにいる環境を離れたくなく、家から通学・通勤する方が安心できるから
現状維持の選択（消極的な理由）	・他の地域で新しく生活を始めるための準備や手続きが面倒であり、今の生活を大きく変える必要性を感じないから ・自分の進路や就職先が既に柏崎市内に決まっている（または希望している）から
将来設計の未決定・未検討	・まだ先の進路が具体的に決まっておらず現時点では柏崎を離れる計画がない ・自分の能力や自信、将来に対する考え方がまだ定まっていないため、まずは地元で過ごすことを優先しているから
「地元＝最良」という判断	地元以外の街についてあまり詳しくなく、無理に外へ出るよりも柏崎での生活が一番自分に合っていると考えているから 柏崎の食事や文化、のびのびとした環境など、地元独自の良さを高く評価しているから

<問6の回答が「わからない」の方>

※回答の記載はありませんでした。

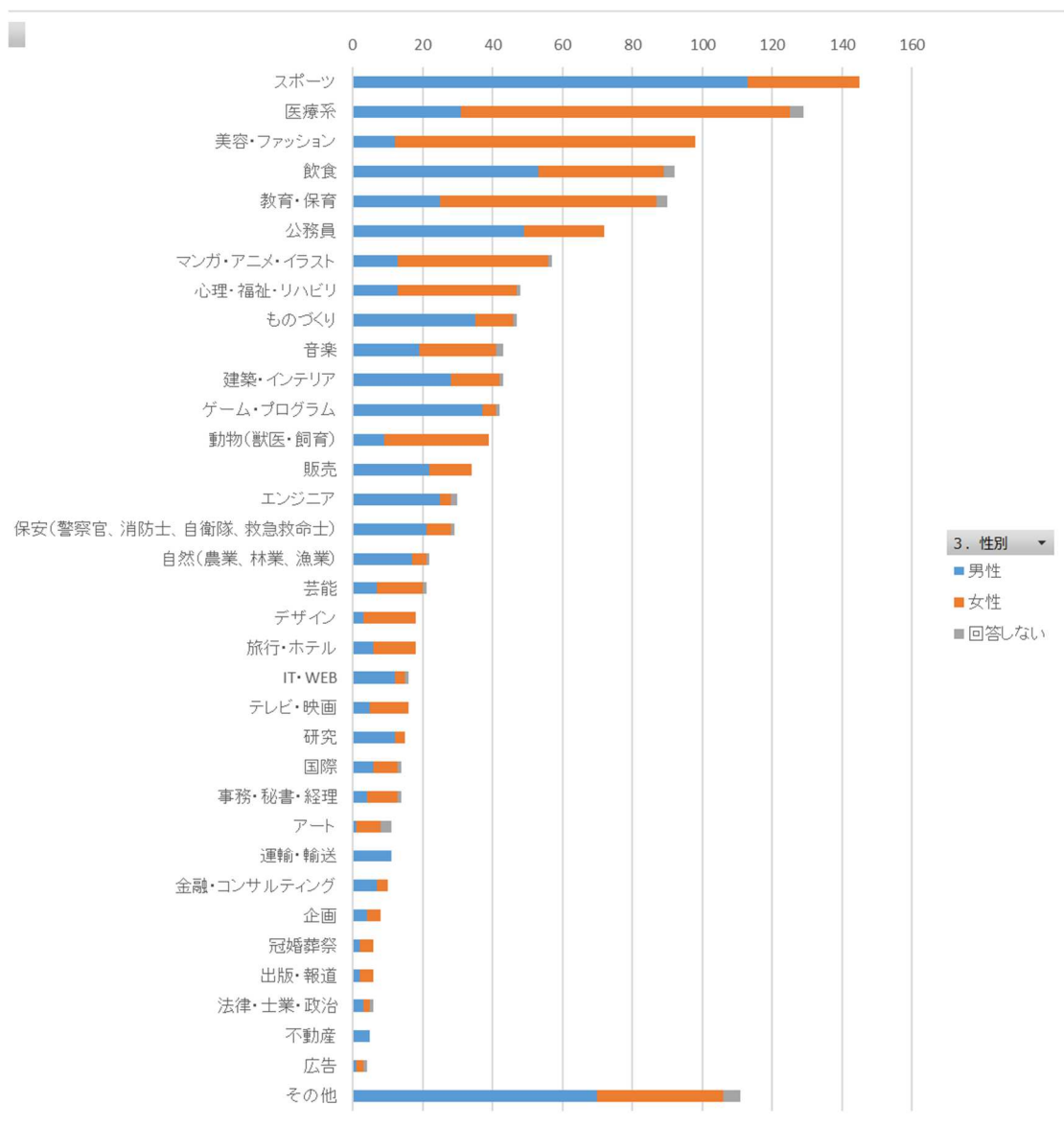
問8. あなたが就きたい仕事（職業）として、最も当てはまるものを選択してください。

回答の傾向

就きたい職業の選択には、男女で明確な傾向差と特定の職種への集中が見られます。男性は「スポーツ」や「ものづくり」「ゲーム・プログラム」「建築・インテリア」など、技術や活動性を重視する分野で高い割合を占める一方、女性は「医療系」「美容・ファッション」「教育・保育」といった、対人スキルや細やかな専門性を要する分野を強く志向しています。

一方で、全体の総数で見ると「医療系」や「スポーツ」に回答が集中しており、生徒たちが社会の基盤となる職業や、日頃から身近に感じられる仕事に対して将来の夢を重ねている様子がうかがえます。また、「マンガ・アニメ・イラスト」や「IT・WEB」など、個人のクリエイティビティやデジタル技術を活かす職種への関心も一定数存在しています。男女それぞれの適性や興味に基づきつつも、生徒たちが自身のキャリア形成に向けて多様な選択肢を検討しており、社会での役割を現実的に捉えようとする姿勢が反映された結果といえます。

▼仕事（職業）-性別 件数



▼仕事（職業）-性別 集計値

個数 / 8. あなたが就きたい仕事（職業）は何ですか？ 列ラベル 行ラベル	男性	女性	回答しない	総計
⊕ スポーツ	113	32		145
⊕ 医療系	31	94	4	129
⊕ 美容・ファッション	12	86		98
⊕ 飲食	53	36	3	92
⊕ 教育・保育	25	62	3	90
⊕ 公務員	49	23		72
⊕ マンガ・アニメ・イラスト	13	43	1	57
⊕ 心理・福祉・リハビリ	13	34	1	48
⊕ ものづくり	35	11	1	47
⊕ 音楽	19	22	2	43
⊕ 建築・インテリア	28	14	1	43
⊕ ゲーム・プログラム	37	4	1	42
⊕ 動物（獣医・飼育）	9	30		39
⊕ 販売	22	12		34
⊕ エンジニア	25	3	2	30
⊕ 保安（警察官、消防士、自衛隊、救急救命士）	21	7	1	29
⊕ 自然（農業、林業、漁業）	17	4	1	22
⊕ 芸能	7	13	1	21
⊕ デザイン	3	15		18
⊕ 旅行・ホテル	6	12		18
⊕ IT・WEB	12	3	1	16
⊕ テレビ・映画	5	11		16
⊕ 研究	12	3		15
⊕ 国際	6	7	1	14
⊕ 事務・秘書・経理	4	9	1	14
⊕ アート	1	7	3	11
⊕ 運輸・輸送	11			11
⊕ 金融・コンサルティング	7	3		10
⊕ 企画	4	4		8
⊕ 冠婚葬祭	2	4		6
⊕ 出版・報道	2	4		6
⊕ 法律・士業・政治	3	2	1	6
⊕ 不動産	5			5
⊕ 広告	1	2	1	4
⊕ その他	70	36	5	111
総計	683	652	35	1370

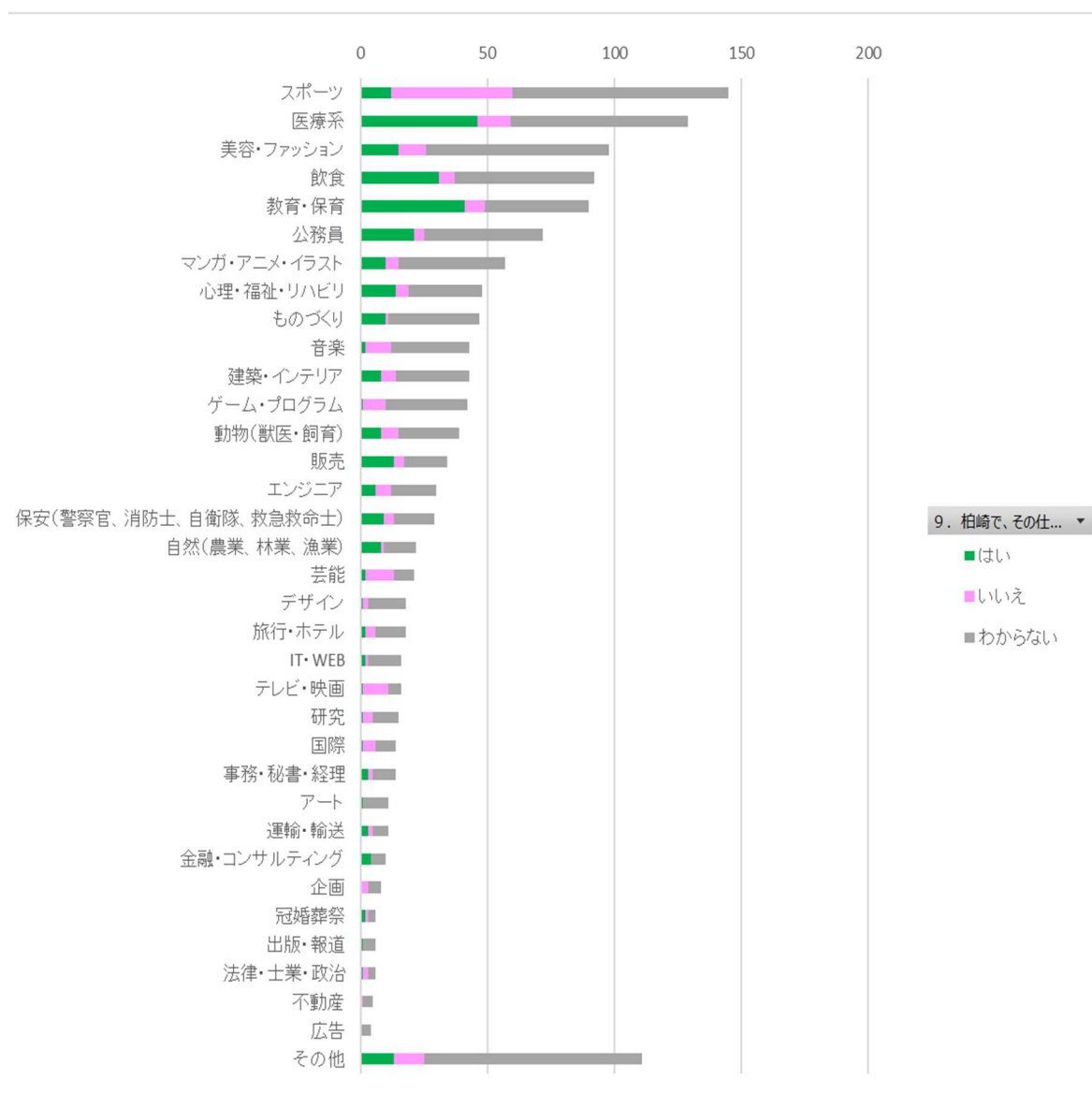
問9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ
- ☐ 分からない

回答の傾向

全体としては「分からない」と回答した生徒が圧倒的多数を占めています。これは、多くの生徒が将来の具体的なキャリア像を描きつつも、地元柏崎の産業や雇用環境について十分な情報を持っていないことを示唆しているといえます。職種別で見ると、「医療系」や「教育・保育」などは「はい」と答える生徒が比較的多く、市内の病院や学校といった施設が身近にあることで、職業イメージが具体化されていることが分かります。一方で、「スポーツ」「ゲーム・プログラム」「IT・WEB」などの専門的な分野やクリエイティブ職では「いいえ」や「分からない」の割合が高く、地元での就業を想定しにくい現状が浮き彫りとなっています。中学生にとって、地元企業の認知度や働き方のモデルケースを知る機会を増やすことが、将来の地元定着を考えるための重要な足がかりになるといえます。

▼仕事（職業）-回答別



▼仕事（職業）-回答別 集計値

個数 / 9. 柏崎で、その仕事（職業）はできそうですか？ 行ラベル	列ラベル はい	いいえ	わからない	総計
⊕ スポーツ	12	48	85	145
⊕ 医療系	46	13	70	129
⊕ 美容・ファッション	15	11	72	98
⊕ 飲食	31	6	55	92
⊕ 教育・保育	41	8	41	90
⊕ 公務員	21	4	47	72
⊕ マンガ・アニメ・イラスト	10	5	42	57
⊕ 心理・福祉・リハビリ	14	5	29	48
⊕ ものづくり	10	1	36	47
⊕ 音楽	2	10	31	43
⊕ 建築・インテリア	8	6	29	43
⊕ ゲーム・プログラム	1	9	32	42
⊕ 動物（獣医・飼育）	8	7	24	39
⊕ 販売	13	4	17	34
⊕ エンジニア	6	6	18	30
⊕ 保安（警察官、消防士、自衛隊、救急救命士）	9	4	16	29
⊕ 自然（農業、林業、漁業）	8	1	13	22
⊕ 芸能	2	11	8	21
⊕ デザイン	1	2	15	18
⊕ 旅行・ホテル	2	4	12	18
⊕ IT・WEB	2	1	13	16
⊕ テレビ・映画	1	10	5	16
⊕ 研究	1	4	10	15
⊕ 国際	1	5	8	14
⊕ 事務・秘書・経理	3	2	9	14
⊕ アート	1		10	11
⊕ 運輸・輸送	3	2	6	11
⊕ 金融・コンサルティング	4		6	10
⊕ 企画		3	5	8
⊕ 冠婚葬祭	2	1	3	6
⊕ 出版・報道	1		5	6
⊕ 法律・士業・政治	1	2	3	6
⊕ 不動産		1	4	5
⊕ 広告			4	4
⊕ その他	13	12	86	111
総計	293	208	869	1370

問 10. 質問 9 で答えた理由を教えてください。(自由記載)

※回答数の多い職業は要約して表示しています。

	はい	いいえ
スポーツ	柏崎にも僕がやりたいスポーツがあるから。 今しているから。 柏崎には陸協があることを知っているから。 会社があるから。 スポーツ店が柏崎市内にはたくさんあるから。 企業がある。 プロサッカー選手になれる自信があらから。 ダンスがしたいひとが来れる。 そういう仕事が柏崎にあるから。 練習できるから。	プロ野球の球団がないから やりたいスポーツのチームがないから スポーツ施設が少ないから できるところ(環境)がないから 専門大学などがないから 目指しているスポーツ会社が市外(東京など)にあるから 限られた地域でしかできないと感じるから 柏崎にはなにもないから なんとなく スポーツが有名なところに行きたいから
医療系	病院がたくさんあるから 総合医療センターなどがあるから 看護師になりたいから 働きたい病院があるから(柏崎の医療機関で働きたいから) 病院が人手不足だと思うから 柏崎はお年寄りも多いから(医療の必要性を感じている) 病院や看護学校があるから 専門学校があるから 親が柏崎でその仕事をしているから なんとなく(一応できるから)	大きい病院で働きたいから 医療の発展したところで働きたいから(市内の病院はあまり充実していないと感じるため) 医療系を学ぶには少なくとも新潟市へ行かなければならないから 法医学教室のある大学がないから 働きたい場所が市外にあるから 他の県と比べ給料が低かったり、いいと思える職場がないから 看護師資格はどこでもできるが、あえて柏崎でしょうとは思わない なんとなく(いやだ)
美容・ファッション	美容室がたくさんあるから 美容に関するお店は柏崎にもあるし、学べることも多いと思うから 美容師は基本どこでもできる仕事だから 柏崎は落ち着く環境だから トレンドや流行りを追うには、別の場所で仕事をした方が良さそうだから 父が美容師だから 憧れている人がいるから	自分の就きたい会社や好きなブランドのお店がない 柏崎には多くの仕事があるイメージが持てない 都会に行ってもより多くの知識や経験を得たい 学校が少なく、地域環境としても不十分だと感じる 美容に特化した専門店や、収益性の高い店舗が少ないと感じる 美容系に特化した具体的な情報を知らない
飲食	柏崎市内には多くの飲食店があり、働く場所には困らないと思う 店舗やレストランが充実しており、就業の選択肢がある 親や祖父母が飲食店を営んでおり、継ぐ必要がある 前の職場体験先が飲食店だったなど、身近な経験がある 飲食業は需要があり、どこでも働けるため自分にもできそうである YouTubeなどの配信活動と同様に、飲食業も場所を選ばず自分に自信がある 柏崎には美味しいものが多く、需要に対して働き手が不足していると感じる 土地があり、事業を始める余地があると感じる	人が少なく、飲食店を開いても経営が成り立たないと思う 人が来ないため、ビジネスとして難しいと感じる 柏崎は住むには良いところだが、就職したいと思える魅力的な場所が少ない 希望する就職先や、飲食店としての選択肢そのものがない
教育・保育	市内に保育園や幼稚園、学校などの施設がたくさんあるから 教育や保育関係の働く場所や進路が確保されているから 柏崎の教員が減少していると聞き、貢献したいと感じるから 地域の人と関わりながら、馴染みのある環境(通っていた園など)で働きたいから 親がその仕事をしており、身近な職業であるから 自分が通っていた園や、知っている場所で働く楽しそうだから 教育学部のある大学への進学や、市内での学習が可能であるから 子どもたち(生徒)がいる環境はどこにでもあるから	少子高齢化が進み、子供の数や学校・保育園の数が減っていくから 学校の統廃合が進んでおり、就業先としての将来性に不安があるから 田舎すぎて環境としてあまり魅力を感じない 施設が少なく、給料などの条件面でも不満があるから 専門的な資格の取得など、就職までの道のりが難しいと感じる 単純にこの地域では難しいと判断しているから
公務員	市役所や公的機関があり、柏崎市でも公務員として働けるから 公務員という職種はどこでも必要とされており、安定して働けるから 教師など、地域に根差した特定の職種で働きたいという明確な目標があるから 多くの職業選択肢があり、地域のために働くことにやりがいを感じるから	他の地域で働きたいという希望があるから 柏崎市という場所での就業を望んでいないから 現実的に柏崎でその仕事に就くのは難しいと感じるから なぜか分からないが、自分には無理そうだと感じているから
マンガ・アニメ・イラスト	インターネットやデジタル機器を活用すれば、どこにいても仕事ができるから 絵を描くなどの作業は場所を問わず行えるから 絵を描くことが好きという個人的な情熱があるから 屋内での活動や個人のペースで進められる仕事だと感じているから	場所や事務所がない 気分転換とかでやりたいところがないから その職業の話を聞いたことがないから
心理・福祉・リハビリ	整体院や病院の外科など、希望する仕事ができる場所が市内にあるから 整体などが多く存在しており、働くための環境が整っているから 市外で得た知識や経験を、地元である柏崎で活かしたいから 働く場所はあるが、あくまで自身の希望や選択として柏崎での就業を考えているから	福祉の大学とかがないから ある程度はできそうだけど、より実践を積むなら柏崎以外がいいと思うから プロのスポーツトレーナーになりにくそう 技術が東京などに比べて発展してなさそう 病院は柏崎にもあるけどなりたい職業に就くには柏崎では無理だと思った
ものづくり	リケンや阿部建設など、市内に希望する企業が存在しているから 家族が働いていた経験があり、身近な仕事として関心があるから 柏崎市内には工場や産業の拠点が複数あり、就業の場があるから 生産や制作といった業務は、場所を選ばず実施可能だと考えているから	
音楽	職場があるから	市内に音楽大学がないから 田舎だから やりづらい できてもしない
建築・インテリア	建物の設計は家でもできると思うから 工業高校はそれが出来ると思うから 父がその仕事をしているから 柏崎にも建築会社はあるから。でも違うところに行きたい 会社があるから	人口減少が進む柏崎では、建築業などの需要が十分に確保できるか疑問があるから 柏崎市にはインテリアデザイナーのような専門的な職種や職場が見当たらないから 志望する特定の企業や職場が市内にない、もしくは見当たらないから 会社の数が限られており、就職先としての選択肢が少ないと感じるから

	はい	いいえ
ゲーム・プログラム	ゲームだから	任天堂など、志望する企業の支社が市内に存在しないから ゲーム関連の企業やeスポーツチームなどが少なく、専門的な仕事場がないから 柏崎市が田舎すぎると感じ、理想とする仕事環境ではないから 仕事の内容によっては出社が必要であり、希望する勤務先が市外にあるため難しいから 進学先を市外に定めているなど、生活の拠点を地元以外に置く予定があるから 働きたいと思える特定の場所や選択肢が、現状の柏崎にはないから
動物(獣医・飼育)	柏崎にも店があるから 柏崎にも動物に関わる仕事があるから 小さい頃からやりたいと思っているから 動物に関係した店があるから	柏崎には水族館が無いから 専門学校や大学が少ないから。 施設がないから もしできたとしても、人がいなさすぎて稼げなさそうだから
販売	スーパーや店舗など、生活や仕事に必要な施設が最低限整っているから ウオロクやアトレなど、具体的な店舗名が挙がるほど働く場所がイメージできるから ブルボンのような大企業が市内にあり、働きやすそうだと感じるから 柏崎市内で働くことに対して、前向きな意欲があるから	柏崎に働きたいとをもう会社がないから 日本に1つしかないから 柏崎にないテーマパークで働きたいから
エンジニア	工場があるから 自信があるから ブルボンがある 自分のやりたい仕事がたくさんあるから 体験会をしたことがあるから	都会より低賃金 大きい企業は柏崎にないから 東京にしかない会社だから 直江津にある企業だから 大企業の正社員になりたいから
保安(警察官、消防士、自衛隊、救急救命士)	あるから 消防署があるから 柏崎消防署など活躍できる場はあるから	柏崎ではできないから 田舎にいてもあまり稼げないから 新潟県警になりたいから柏崎ではできない
自然(農業、林業、漁業)	一応寒い気候の地域だから 自然が豊かだから 柏崎は自然が豊かで農業などで働けるところがたくさんあるから 兄がやっているから 親が漁師しているから	親の実家の家業だから
芸能	家でできる 動画撮り、編集はどこでもできるから。	そもそも柏崎市内に留まる予定がなく、市外や県外(千葉など)での就職を希望しているから 柏崎が田舎すぎて、自身の理想とする環境や職業がないから 東京などの都市部へ出るためのアクセスが不便であるから 自分の入りたい企業や活躍の場が地元には存在しないから
デザイン		デザインの会社が全然ないから もうちょい都会の方がやりやすそう
旅行・ホテル	働ける場所はあるから	柏崎にホテルがないから 柏崎にはあまりない 柏崎以外の旅行先で働いてみたいから
IT・WEB	プログラムはパソコン一つでどこでもできるから できそうだから	柏崎でITとなるとインターネットで検索して目ぼしい企業が見つからなかったため
テレビ・映画		柏崎にテレビ、映画に関わる仕事ができる場所は少ないと思うから 柏崎に自分の夢が叶えられるところがあまりないから 就職したい会社が東京にあるから 映画はできない テレビ局がないから 役者の専門学校が柏崎にないから
研究	様々な大学や研究施設があると思うから。	できる機関がない 規模が狭すぎるから 県外の大学の方が研究に優れているため
国際		語学を学びたいから 柏崎市だから 働く場所がない 柏崎以外でその仕事をしたいから
事務・秘書・経理	なんかありそうだから	都会でしかできない仕事だから
アート	どこでも出来そう	
運輸・輸送	運送業者がある、知っているから	柏崎では、あまり無さそうだから 資格の対策ができない
金融・コンサルティング	つきたい仕事関連のところがあるから スマホで投資できるから 市内に銀行が何軒かあるから 職場体験で行った、しんきんなどがあるから	
企画		柏崎にその夢を実現できる場所がない 柏崎にはないから
冠婚葬祭	その施設があるから 結婚式場があるから	
出版・報道	私が住んでいる、場所が好きで言ってくれた事です	
法律・士業・政治	親の会社に勤めたいから	過疎化している地域ではできないと思ったから 単純にないから
不動産		
広告		
その他		

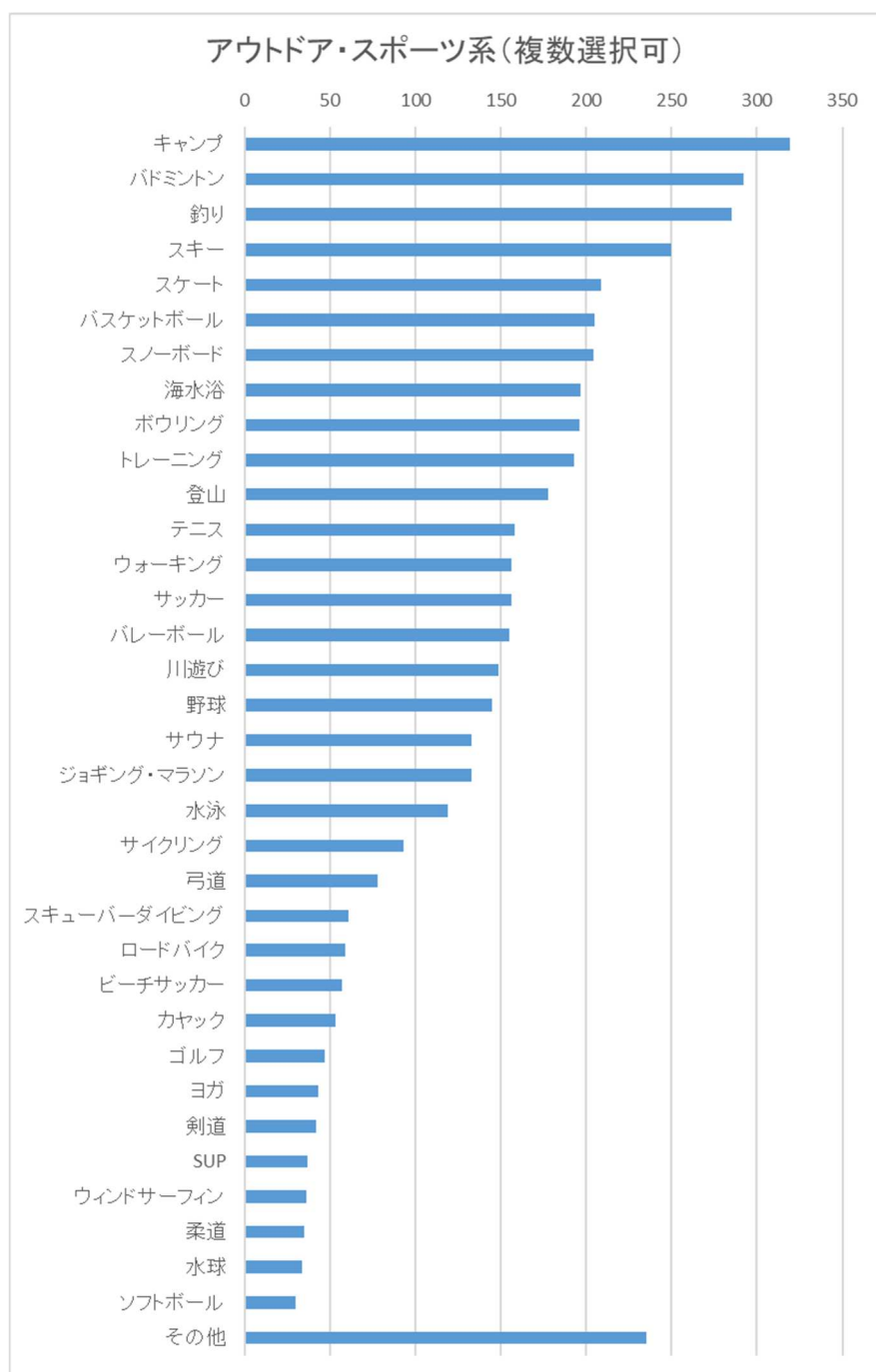
職業選択の理由として、中学生は身近な施設や企業の存在を「就職の可能性」と結びつける一方、専門職や最先端分野については「市内には拠点や選択肢がない」と分析しています。公務員や医療、製造など既存の産業基盤への信頼がある半面、より高度な専門性や都会的な職種を求める層には「柏崎では無理」という先入観も根強くあります。キャリア形成における地元企業の認知度向上と、多様な選択肢を提示する環境づくりが必要といえます。

**問 11. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【アウトドア、スポーツ系】に取り組む場合、
どのようなことをしたいですか？**

回答の傾向

柏崎の自然や施設を活かしたアウトドアやスポーツ活動に対し、中学生からは多様な関心が寄せられています。特に、海や山、公園など身近な環境での活動への意欲が高く、スポーツ大会や地域行事を通じて他者との交流を求める声も目立ちます。一方で、遊び場となる施設や活動機会の不足を指摘する回答も多く、スポーツやレクリエーションを心から楽しめる場所を柏崎に創出することで、若者の地域活動への参加を促せる可能性が示されています。

▼選択肢別-降順

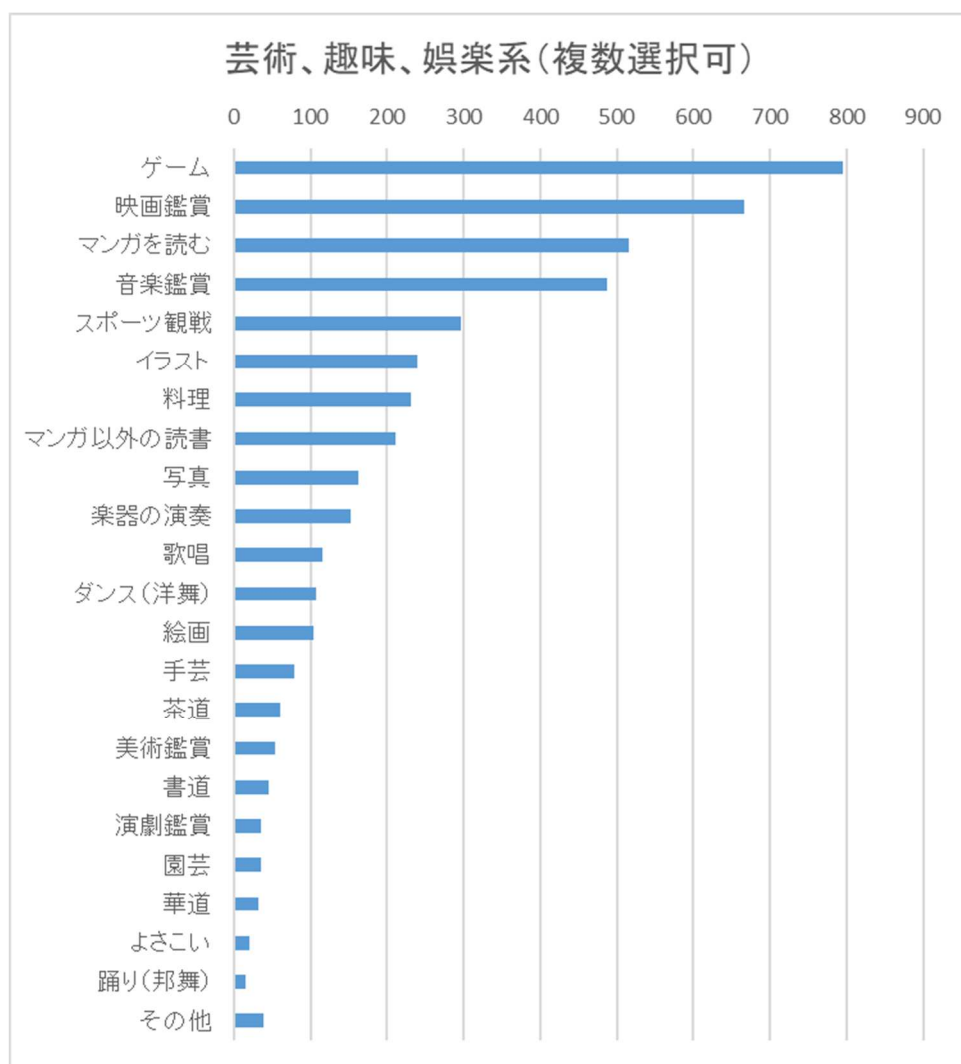


**問 12. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【芸術、趣味、娯楽系】に取り組む場合、
どのようなことをしたいですか？**

回答の傾向

自由時間の過ごし方では、映画鑑賞やショッピング、友人とのカラオケやゲームといった、身近な娯楽への需要が顕著です。また、創作活動や楽器演奏など自身の趣味を深めたいという意欲も見られますが、市内にはそれらを満足に楽しめる環境が少ないという現状が、回答から読み取れます。若者がワクワク感を持って過ごせる場所や文化的な体験の機会を増やすことが、街の魅力を高める鍵のひとつといえます。

▼選択肢別-降順



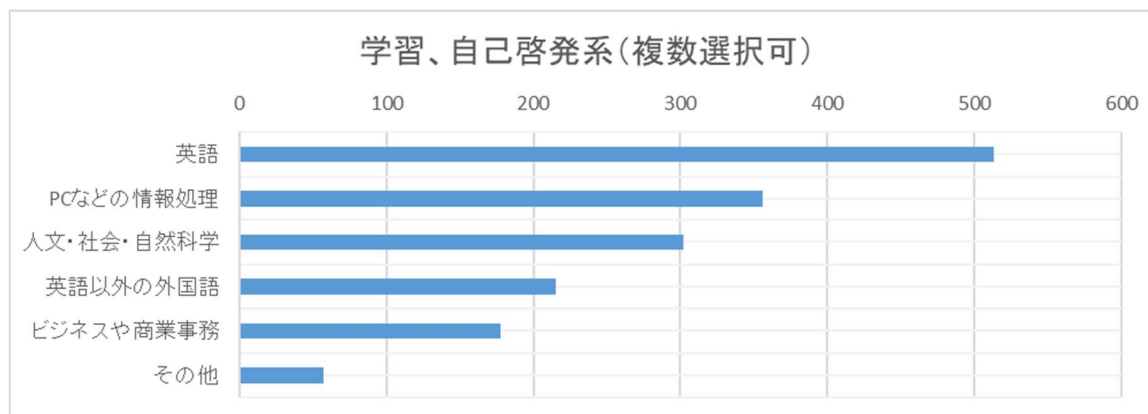
問 13. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【学習、自己啓発系】に取り組む場合、

どのようなことをしたいですか？

回答の傾向

学習・自己啓発に関する回答では、「英語」や「PC などの情報処理」といった将来の進路や就職を強く意識したスキルの習得を希望する生徒が目立ちます。また、人文・社会・自然科学といった学問的な探究心も一定の支持を得ています。全体として、遊びや趣味だけでなく、自身の可能性を広げ、将来の社会生活に直接役立つ実用的な学びの場を市内において求めている中学生の現状が浮き彫りとなっています。

▼選択肢別-降順



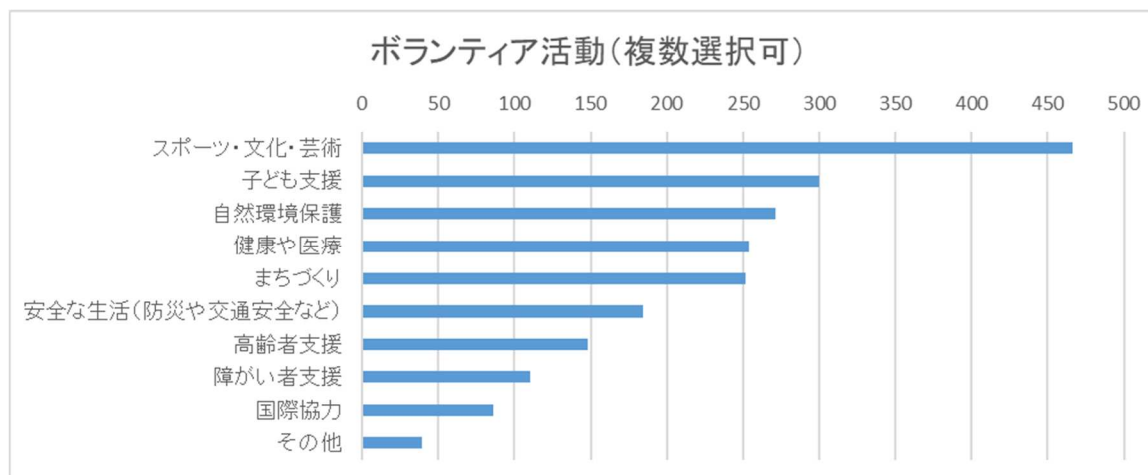
問 14. 柏崎で、学校生活以外の自由時間を使って、【ボランティア活動】に取り組む場合、

どのようなことをしたいですか？

回答の傾向

ボランティア活動については、清掃や環境美化といった身近で取り組みやすい活動や、地域のイベント・行事の運営支援に高い関心が寄せられています。また、子どもたちの遊び相手やスポーツ指導など、自身の得意分野を活かした貢献を望む声も目立ちます。これらは、中学生が地域社会の一員として「誰かの役に立ちたい」という意欲を持っていることを示しており、若者が気軽に地域貢献に関われる仕組みや、やりがいを感じられる場の重要性がうかがえます。

▼選択肢別-降順



問 15. あなたの好きなことやワクワクすることが柏崎でできるとしたら、

どんなことがしたいですか？（自由記載）

▼自由記載の分類結果

自由記載は概ね以下に分類されました。

1. 娯楽・商業施設の充実

キーワード	回答の要約
大型商業施設の建設	イオンモールや大型ショッピングモールを建てて、友達と買い物や遊びを楽しみたい。
映画館の設置	柏崎市内に映画館を作り、気軽に映画鑑賞ができるようにしてほしい。
複合遊戯施設の拡充	ラウンドワンやスポッチャのように、スポーツやゲームがまとめて楽しめる施設が欲しい。
チェーン店の誘致	サイゼリヤやアニメイト、雑貨店など、長岡や都会にあるような人気店をもっと増やしてほしい。
屋内の遊び場	天候に左右されず、中学生が放課後や休日に集まれる場所を増やしてほしい。

2. スポーツ・アクティビティの振興

キーワード	回答の要約
スポーツ施設の整備	バスケットができる体育館やスケートパーク、バッティングセンターなど、特定のスポーツを楽しめる施設が欲しい。
スポーツ大会の開催	柏崎市内の地域対抗球技大会や、中学生が参加できる大規模なスポーツフェスティバルを開催してほしい。
プロ・有名人の招聘	プロのスポーツ選手や有名アーティストを招いたイベントや試合観戦ができる環境を作してほしい。
自然を活用した遊び	海や山、スキー場などの自然を活かしたアクティビティ（キャンプ、釣り、マリンスポーツ）をもっと気軽に体験したい。
健康促進と交流	全世代が楽しめる運動会や、スポーツを通じた他校・他世代との交流会を増やしてほしい。

3. イベント・文化交流

キーワード	回答の要約
大規模なイベントの開催	えんま市のような祭りの期間延長や、音楽フェス、大規模な野外イベントを行いたい。
文化・芸術活動の発表	吹奏楽の演奏会やダンスイベント、絵画の展示会など、自分たちの表現を発信する場を作してほしい。
地域交流の推進	高齢者と子どものふれあいや、ボランティア活動、外国人との交流を通じて、地域との繋がりを感したい。

柏崎の魅力発信	柏崎のニュースを作って発信したり、観光スポットを紹介するなど、自分たちの手で地域を盛り上げたい。
職業体験・学び	興味のある分野（飲食店、IT、ものづくりなど）を実際に体験できる機会や、ワークショップを増やしてほしい。

4. 街づくり・将来への提言

キーワード	回答の要約
シャッター街の解消	駅前や商店街に店を増やし、賑わいのある街並みに変えてほしい。
若者の意見反映	中学生・高校生が主体となってまちづくりに参加できる機会を作してほしい。
情報の透明化	目的を明確にした広報を行い、市民が協力しやすい仕組みを作してほしい。
街の活性化	施設建設だけでなく、住みやすさや子育て支援を充実させ、若者が定住できる街にしてほしい。
交流の場の創出	辛い時や気軽に誰かと話したい時に集まれるような、無料のコミュニケーションスペースが欲しい。

■パートナーチーム及び本アンケートに関するお問合せ先

柏崎市元気発信課 移住定住促進係 TEL 0257-47-7333

NPO 法人 aisa（パートナーチーム事務局） TEL 0257-21-5910